

2. 所有土地の状況

2-1 資産別、取得時期別の所有土地の状況

土地取得時期（3区分）・現在の保有土地のうち農地・林地・信託受益権を有する土地（3区分）、資産区分（2区分）別面積・割合

単位：面積（ha）、割合（％）

			面積			割合		
			事業用資産	たな卸資産	合計	事業用資産	たな卸資産	合計
平成20. 1. 1現在の所有土地（Ａ）			813, 431	24, 891	838, 322	97. 0	3. 0	100. 0
取得時期	平成9. 12. 31までに取得した土地（１）		747, 120	19, 024	766, 144	97. 5	2. 5	100. 0
	平成10. 1. 1～14. 12. 31までに取得した土地（２）		22, 806	2, 380	25, 187	90. 5	9. 5	100. 0
	平成15. 1. 1～19. 12. 31までに取得した土地（３）		43, 505	3, 487	46, 992	92. 6	7. 4	100. 0
	平成20. 1. 1現在の所有 土地のうち	農地	4, 741	519	5, 260	90. 1	9. 9	100. 0
		林地	413, 566	12, 375	425, 941	97. 1	2. 9	100. 0
		農地・林地の合計	418, 307	12, 894	431, 201	97. 0	3. 0	100. 0
		信託受益権を有する土地	476	4	480	99. 2	0. 8	100. 0
	平成18. 12. 31現在の所有土地			810, 147	25, 461	835, 608	97. 0	3. 0

		平成20.1.1現在の所有土地に対する 面積の割合		
		事業用資産	たな卸資産	合計
取得時期	平成9.12.31までに取得した土地（1／A）	91.8	76.4	91.4
	平成10.1.1～14.12.31までに取得した土地（2／A）	2.8	9.6	3.0
	平成15.1.1～19.12.31までに取得した土地（3／A）	5.3	14.0	5.6

注：1. 信託受益権とは、信託期間中に受益者が信託財産から生じる収益を受け取る権利及び信託期間が終了したときに元本である財産を受け取る権利のことをいう。

「不動産証券化ハンドブック（（社）不動産証券化協会）」

2. 『林地』は、平成19年度まで『山林』と表記していた。

3. 面積は内訳の計と合計が合わない場合がある。